

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月7日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	丸尾カルシウム株式会社
【英訳名】	Maruo Calcium Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 源吉 嗣郎
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 今井 一史
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 今井 一史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	7,024	7,870	9,366
経常利益(百万円)	309	494	391
四半期(当期)純利益(百万円)	198	320	239
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	241	657	422
純資産額(百万円)	5,217	6,010	5,397
総資産額(百万円)	9,984	12,204	10,219
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	17.75	28.69	21.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	17.45	27.99	21.12
自己資本比率(%)	50.1	47.2	50.6

回次	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.72	13.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、日本銀行による大幅な金融緩和の維持、政府主導による経済対策の実施等により、株式市場も好況が維持され、為替相場も安定し、企業業績も上向きつつあります。一方、消費増税後の反動リスク、依然として燦る欧州債務危機、米国の財政問題、新興国の成長率鈍化等様々なリスクも存在し続けています。

このような経済情勢下、当社グループにおきましては、顧客の幅広い要望に応えるため、技術や品質の向上のほか、新規製品の開発にも鋭意取り組んで参りました。また、生産効率の向上、原材料の安定確保並びに原価低減にも注力いたしました。

業績につきましては、景況感の回復、消費マインドの改善等もあり、平成25年の新設住宅着工戸数は4年連続の前年越えて98万戸となり、主力商品である建設業界向け出荷は好調に推移しております。それに加え米国・中国等の自動車生産も顕著に回復したことにより、生産量も増加し工場稼働率が向上しました。その結果、売上高は8億46百万円増加して78億70百万円（12.1%増加）となりました。営業利益は3億78百万円（前年同期比1億50百万円増加、66.1%増加）、経常利益は為替差益の増加、原油デリバティブ評価損の減少もあり4億94百万円（前年同期比1億85百万円増加、60.2%増加）、四半期純利益は3億20百万円（前年同期比1億22百万円増加、61.8%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億84百万円増加し、122億4百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加7億90百万円、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加5億7百万円、設備投資実施に伴う有形固定資産の増加1億84百万円、上場株式の時価上昇により投資有価証券が4億20百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13億71百万円増加し61億93百万円となりました。これは主に長期借入金の増加7億66百万円、支払手形及び買掛金の増加2億43百万円によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億13百万円増加し60億10百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億63百万円、その他有価証券評価差額金が2億81百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億35百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 設備の状況

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	主な製造品目	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
丸尾カルシウム(株) 土山工場	兵庫県 明石市	化合炭酸 カルシウム	化合炭酸 カルシウム 生産設備	400	20	自己資金 及び借入	平成25年9月	平成26年6月	(注)2

- (注) 1. 金額には消費税等は含まれておりません。
2. 既存設備代替のための新設で、生産量の増加は見込んでおりません。

また、当第3四半期連結累計期間に新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	主な製造品目	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
丸尾カルシウム(株) 本社工場	兵庫県 明石市	化合炭酸 カルシウム	化合炭酸 カルシウム 生産設備	1,400	154	自己資金 及び借入	平成25年7月	平成26年6月	年間生産能力 約3,000 t
丸尾カルシウム(株) 土浦工場	茨城県 稲敷郡	化合炭酸 カルシウム	化合炭酸 カルシウム 生産設備	140	15	自己資金 及び借入	平成25年10月	平成26年4月	(注)2

- (注) 1. 金額には消費税等は含まれておりません。
2. 既存設備合理化のための新設で、生産量の増加は見込んでおりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,710,000	11,710,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	11,710,000	11,710,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	11,710	-	871,500	-	435,622

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 532,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,073,000	11,073	-
単元未満株式	普通株式 105,000	-	-
発行済株式総数	11,710,000	-	-
総株主の議決権	-	11,073	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
丸尾カルシウム株式会社	兵庫県明石市魚住町西岡1455	532,000	-	532,000	4.54
計	-	532,000	-	532,000	4.54

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている霞が関監査法人は平成25年10月1日付をもって太陽A S G有限責任監査法人と合併し、名称を太陽A S G有限責任監査法人に変更しております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,910	1,963,444
受取手形及び売掛金	3,854,729	4,362,185
商品及び製品	342,323	428,017
仕掛品	76,614	59,785
原材料及び貯蔵品	202,487	226,972
その他	151,506	138,972
貸倒引当金	5,023	4,805
流動資産合計	5,795,549	7,174,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	965,535	949,128
機械装置及び運搬具(純額)	1,202,294	1,253,709
土地及び鉱山用土地	581,307	588,762
建設仮勘定	46,191	193,149
その他(純額)	45,744	41,050
有形固定資産合計	2,841,073	3,025,800
無形固定資産	37,197	35,556
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115,267	1,545,199
投資不動産(純額)	288,989	283,750
その他	149,475	146,128
貸倒引当金	8,037	6,844
投資その他の資産合計	1,545,693	1,968,234
固定資産合計	4,423,964	5,029,592
資産合計	10,219,514	12,204,164
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,651,471	1,894,651
短期借入金	405,986	538,938
未払法人税等	92,088	60,920
賞与引当金	152,500	81,750
役員賞与引当金	6,810	4,510
その他	499,873	1,213,781
流動負債合計	2,808,730	3,794,551
固定負債		
社債	534,000	17,500
長期借入金	704,049	1,470,058
退職給付引当金	533,619	542,359
その他	241,365	368,770
固定負債合計	2,013,034	2,398,688
負債合計	4,821,765	6,193,239

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,500	871,500
資本剰余金	435,622	435,622
利益剰余金	3,593,020	3,856,086
自己株式	87,784	84,833
株主資本合計	4,812,358	5,078,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370,386	651,463
為替換算調整勘定	7,709	27,654
その他の包括利益累計額合計	362,677	679,118
新株予約権	18,017	29,505
少数株主持分	204,695	223,925
純資産合計	5,397,748	6,010,925
負債純資産合計	10,219,514	12,204,164

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,024,364	7,870,844
売上原価	5,527,892	6,134,228
売上総利益	1,496,472	1,736,615
販売費及び一般管理費	1,268,690	1,358,268
営業利益	227,781	378,346
営業外収益		
受取利息	1,080	2,032
受取配当金	22,919	27,113
不動産賃貸料	43,169	45,121
為替差益	12,805	34,724
その他	27,541	27,335
営業外収益合計	107,515	136,328
営業外費用		
支払利息	8,014	10,271
デリバティブ評価損	12,651	4,511
その他	5,580	4,921
営業外費用合計	26,246	19,704
経常利益	309,050	494,970
特別利益		
固定資産売却益	28,394	1,591
特別利益合計	28,394	1,591
特別損失		
減損損失	87	-
固定資産処分損	29,353	20,459
投資有価証券評価損	199	-
ゴルフ会員権評価損	9,424	-
特別損失合計	39,065	20,459
税金等調整前四半期純利益	298,380	476,101
法人税、住民税及び事業税	81,498	119,802
法人税等調整額	14,300	25,361
法人税等合計	95,798	145,164
少数株主損益調整前四半期純利益	202,581	330,937
少数株主利益	4,529	10,417
四半期純利益	198,052	320,520

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,581	330,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,024	281,076
為替換算調整勘定	221	45,027
その他の包括利益合計	39,245	326,104
四半期包括利益	241,827	657,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,191	636,955
少数株主に係る四半期包括利益	4,636	20,086

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	67,507千円	83,709千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	309,420千円	343,202千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	55,789	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	55,786	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	17.75円	28.69円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	198,052	320,520
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	198,052	320,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,157	11,171
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	17.45円	27.99円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	193	277
(うち新株予約権(千株))	(193)	(277)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月 6日

丸尾カルシウム株式会社
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 植田 益司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笹川 敏幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている丸尾カルシウム株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、丸尾カルシウム株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には X B R L データ自体は含まれていません。